

ATIS 第 378 回例会報告

始めに、このたびの熊本地震の発生により、亡くなられました方々のご冥福をお祈り致します。また、被災されました多くの皆様には、一日も早い復旧と復興を祈念致します。

今回の例会は約 50 名の参加を得て、水道橋のリロ会議室にて代表幹事報告とシンポジウムを行い、その後徒歩で移動してトッパン小石川ビルの印刷博物館見学と懇親会です。

シンポジウムはパナソニック IP マネジメント（株）瀬川香寿氏とパナソニックソリューションテクノロジー（株）鈴木崇大氏からプレゼンを頂きました。両社は比較的最近参加した新会員です。

瀬川氏から企業理念に始まる会社全体の紹介とともに、強みとなっている顧客ニーズに合わせ対応可能にした業務の標準化、フォーマット化された事業分析ツールや評価方法、業務プロセスの特徴などの紹介を頂きました。鈴木氏からも会社全体の事業紹介とともに、特に知財情報業界で多くの顧客をもつ PatentSQUARE に関して、その特徴を紹介頂きました。まだ PatentSQUARE 利用していない会員にも参考となるものでした。



次に施設見学したトッパン小石川ビルの印刷博物館は、1900年に創業した凸版印刷（株）が創業 100 周年を記念して創設された博物館です。

展示室に入るプロローグ展示ゾーンでは、印刷文化の歴史が壁面に展開されています。案内スタッフにより説明を頂きました。大英博物館所蔵ロゼッタストーンのレプリカ、ルーブル美術館所蔵ハムラビ法典のレプリカに始まり、現在に至る印刷技術の発展とその成果物を通じて、印刷文化・技術の歴史における重要な出来事や見るべきポイントが理解でき

ました。

展示場には、教科書に出てくる歴史的にも重要な実物書籍や複製書籍の展示品が満載です。さらに重要文化財に指定されている駿河活字、グーテンベルグによる印刷技術や印刷方法の紹介、浮世絵の印刷方法、印刷機械の展示など印刷に関する展示です。主な展示物のところには説明案内があり、一日費やしても興味が尽きぬ十分な内容でした。

加えて、トッパンが世界の文化遺産をデジタルアーカイブ化した作品の中から、当日はVRシアターでバチカン市国のシスティナ礼拝堂の映像を体験しました。スーパーコンピュータを駆使して、手元操作で礼拝堂の中を自在に移動（垂直方向も）して礼拝堂の壁画鑑賞を体感できるものです。座席に座っていても空中を移動している感覚を覚えます。壁画の間近まで接近すると、壁画のひび割れなども見える鮮やかな壁画の迫力を体験できました。これは現地でも絶対に見ることができないような素晴らしい光景、体験でしょう。是非、他の作品も鑑賞したいと思う感動を覚えました。